



多面的機能支払活動というのをご存じでしょうか。中山間地域の人口減、高齢化により農用地、里山、山林の維持管理が問題になっていますが、そのような活動に対して農林水産省、林野庁が補助をする制度です。グラウンドワーク活動の課題と共通する感じです。そこで、両方でサミットを企画して意見交換をすることになりました。

2017 グラウンドワーク&多面的機能支払活動 サミット in 東海 「住民主体のパートナーシップ活動による農村地域の活性化」 ～つながるとひろがるね！ 活動団体が笑顔になる～

1 日時・会場

【サミット】2018年2月2日(金)13:00～17:00(受付開始 12:00) 愛知県土地改良会館 7階 大会議室(〒451-0052 名古屋市西区栄生一丁目18番25号)

TEL: 052-551-3611 FAX: 052-551-3630 名鉄栄生駅より北へ徒歩 10分又は名鉄東枇杷島駅より東へ徒歩 10分

【交流会】サミット終了後(17:30～19:00) 愛知県土地改良会館 6階第1研修室

【活動現場視察】2月3日(土)9:00～16:00(豊

橋市内現場: バス移動)

2 定員 100名

3 参加費 サミット・活動現場視察 無料、交流会参加費 3,000円/人

4 サミット(2月2日)概要

- ・基調講演「なぜ今連携を模索するのか～農村景観・多面的機能推進・ふるさと再生のために～(仮題)」立梅用土地改良区&ふるさと屋 高橋幸照氏
- ・現場活動団体発表、会場参加者と意見交換

【主催】NPO 法人グラウンドワーク東海、愛知県

農地水多面的機能推進協議会

【協賛】、(一財)日本グラウンドワーク協会

【後援】東海農政局

5 活動現場視察

翌3日はグラウンドワーク東海主催で豊橋市内のグラウンドワークと多面的機能の活動現場視察ツアーを行います。

申込み方法など詳細はホームページをごらんください。

ホームページ引っ越しについて

これまでホームページを置いていた auone-net がホームページサーバー提供事業から撤退することになり、以下のアドレスへ引っ越しすることになりました。新しいサーバー契約では容量が格段に増加しましたので NewsLetter のバックナンバー、会員活動紹介など FaceBook と合わせて情報発信を充実していきます。新しい URL は 10 月の早いうちに運用予定です。 <http://www.npo-gwtokai.org>

<http://www.cop10-origami.com/> をご覧ください。



環境デーなごや参加



9月16日(土)実施。例年は灼熱のイベントになっていましたが、今年は台風と秋雨前線の影響でずっと雨。お隣のブースは参加をあきらめたので、私たちが拝借。写真は折り紙作業と出来

上がり。一見すると何の虫? なんの鳥? か相当な想像力が必要。安直に正解を知りたい方は環境省折り紙アクションのサイト

【原田副理事長の感想】16日の環境デーなごやの総括としては、雨の影響でイベント全体として非常に少ない来場者でした。

その中でもグラウンドワークのブースでは小さな子供からおばあさんまで来てくれ、「生物多様性おりがみアクション」に参加してくれたことは評価としました。

「生物多様性おりがみアクション」は(公財)日本自然保護協会さんのブースでも行われていましたが、アクションの実施のお礼とブースの写真を撮りにきてくれました。溶岩滝についても、興味深く観察したり、これは何で出来ているのか聞いたりしてくれました。

しかし、当初目的でした新規会員の宣伝については、全く行えなかったのは残念でした。

あいちサマーセミナーに講師参加

7月15日(土)～17日(日)名古屋中村区同朋高校、同朋大学他で愛知サマーセミナーが開催されましたが、グラウンドワーク東海からも竹谷理事長、原田副理事長、山本協力会員、川瀬充(公社)愛知県ペストコントロール協会)が講師として参加。地域課題へのグラウンドワークとしての取組みを紹介しました。セミナーには3日間で6万人の訪問があり盛況だったそうですが、グラウンドワーク東海も竹谷理事長の講義が満席になるなど閑散としていた昨年とは大違いでした。後日主な感想文が配布されまし

たので理事長感想と合わせて紹介します。

ケニア・ビクトリア湖周辺地域の環境

問題 担当 竹谷

日本では、アフリカの環境問題に正面から向き合える情報が乏しいためか、思いの外、教室が一杯になる来聴者があった。ケニアはマラソンでなじみがあり、ナイル川源流域のビクトリア湖は聞いたことがある。しかし、その周辺地域で問題となっている

環境問題といわれても何のことか頭に浮かばないのが現実である。セミナーではリフトバレーの両側傾斜地、といっても幅2-30km、長さ百km以上ある傾斜面で、乾期の洪水など異常気象による大規模な土壌流亡が農地喪失として地域住民の生存基盤を破壊する具体像を写真で紹介しながら、さて土壌流亡をどう緩和し防いでいくか、取り組みを考え話した。現場では、住民はもとより政府も金がないなか、文字通り人間の知恵が試される、農学、林学、農業土木、そして畜産学の知識を動員し、住民が関心を持

つ収入を増やす視点も織り交ぜることの重要性、研修を通じた能力形成の重要性を伝え、住民に力を付け大勢の行動を引き出すことで打開策を創り出す、根気のいる取り組みを紹介した。

来聴者の感想文は「興味深かった」「考えさせられる講座でした」「講座を聴いてとても驚いた」「自由研究に活かしたい」等々、ためになったとするものがほとんどであった。

パートナーシップによる環境改善

担当 竹谷

サブタイトルに「住民・企業・行政の協働による環境保全と地域社会の活性化」を掲げ、グラウンドワーク活動とその組織を広く高校生等に理解しても

H140 **竹谷裕之** (NPO 法人グラウンドワーク東海)

ケニア・ビクトリア湖周辺の環境問題

私は元青年海外協力隊員です。20年前にケニアに派遣されました。土壌浸食の問題のあることは知りませんでした。ケニアなどの途上国で起こっている(はずの)気候変動問題がなかなか伝わってこない中、大変貴重な活動をされていたのだと感心いたしました。勿論、本日まで提供下さった情報も大変貴重なもので、ありがたかったです。(光ヶ丘教員)

らうため、三島 GW や多気町勢和地区の活動、内山川ホタルを守る会、明治用水土地改良区の取り組みなど、具体像を提示し話をした。住民を主人公とし、行政と企業がパートナーとなり、生態系の回復保全、景観修復、生活環境の保全を切り口に活動することの大切さを語った。中学生から「自分達にもできるボランティア活動で環境を守りたい」「参加して協働することが大切だなと思った」といった感想が多く寄せられました。受講者は教室の半分程度、生徒と親、生徒のグループ、一般市民と混成なので、生徒さんに合わせ話すように努力したのが良かったと思う。

G142 **原田 都郎** (NPO 法人グラウンドワーク東海)

ホタルの舞う環境づくり

蛍についてのことがたくさん学べました。蛍が光ることしか知らなかったけれど、とてもわかりやすくよくわかりました。蛍は多分実際には見たことがなくて、テレビとかでしか見たことはなかったけど、蛍のことが前よりもたくさん知れたので実際に見てみたいと思いました。人がコンクリートに溶岩を付けて蛍が増えてると言うことを知って、すごいなと思いました。卒業生がコンクリートに付ける溶岩にメッセージを書いて協力しているということを知って驚きました。人が環境を少し変えるだけで蛍が増えるって知って、驚いたしすごく良いなと思いました。(安城学園高校生徒)



E141 **山本 孝之** (市民)

災害のデパート? 愛知県

情報が豊富なこの時代においても災害の予測は難しいということを改めて実感しました。昔からの危険が判る地名も今はほとんど変えられているのも残念です。戦争と同じで、地域ごとに災害の歴史をしっかりと受け継ぎ、慢心せずに対策を練っていく、役所任せにせず自分事として日々注意していくことが大切だと思いました。(日福大付属高校 父母)

グラウンドワーク小牧活動報告



実践記録(愛・ロードパートナーシップ事業(道路清掃活動))

【日時】9月3日(日) 9時~11時 天候晴れ

【場所】小牧市野口大山四季の森交差点~中央高速小牧東インター取り付け道路3.0キロ

【活動人員】19名

【活動内容】歩道及び路側全線のゴミ拾い。

また福永工業さんには、駐車場の整理、清掃を事前に実施頂いて感謝しています。

【収集ゴミ】燃えるゴミ6袋。不燃ゴミ(不分別)17袋

【その他】路側の雑草が歩道側に伸びて歩道の通行が出来ない状況であった。

【活動状況等】 秋ばれの好天気で交通量の多い中、路側の雑草に悩まされる作業であったが多くの参加者に恵まれて無事清掃作業を終了することができた。

グラウンドワークセミナー開催のお知らせ

(一社) 日本グラウンドワーク協会

3年ぶりの開催になりますが、コンサルタントや建設会社の関係者、グラウンドワーク関係者を主な対象として、グラウンドワークの実際の活動を紹介し、農林水産省の施策である多面的機能支払組織等の住民組織を含めて、どのような期待・展望を持てるかをテーマとするグラウンドワーク・セミナーを11月1日に東京・新橋で開催します。

詳細は協会ホームページをご覧ください。(http://groundwork.or.jp/) グラウンドワークにご興味をお持ちの方でしたら、どなたでも大歓迎です。参加費は、グラウンドワーク関係者で、後援団体関係者以外の方は、交流会費相当分とします。10月23日迄に参加申し込みをお願いいたします。

期 日 平成29年11月1日(水) 15:00~18:30(開場 14:30)

場 所 農業土木会館 2階会議室

講演会 農林水産省農地資源課長、グラウンドワーク活動団体理事長など
交流会 グラウンドワーク笠間の加工食品の紹介、試食も予定しています。
参加費 8,000円(企業関係の方、交流会を含む)、当日会場で申し受けま

す。なお、賛助会員企業、後援団体は1名様無料です。
申込み 1月23日(月)までに、所属する後援団体又は当協会に直接、お申し込み下さい。

(一財) 日本グラウンドワーク協会

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館1階

TEL: 03-6459-0324 FAX: 03-6459-0325

E-mail: gw-kikaku@groundwork.or.jp

※農業農村工学会のCPD(技術者継続教育機構)を申請します。2CPDになります。

会員募集と会費納入のお願い

会費未納入の方、新規加入ご希望の方は以下の口座番号へ会費を納入してください。請求書が必要な方は事務局へメール、FAXなどでお知らせください。すでに納入いただきました方は失礼をお許しください。

金融機関	口座番号	口座名義	会費
(振替用紙ご利用) 郵便局(ゆうちょ銀行)	00880-8-35758	NPO グラウンドワーク東海	個人正会員様 10,000円/年/口
郵便局(ゆうちょ銀行)	記号 12160 番号 45969591	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	個人協力会員様 3,000円/年/口
三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部	店番 150 普通 番号 5759603	特定非営利活動法人 グラウンドワーク東海	企業・活動団体様 事務局へメールでご確認ください